

4. 住宅建設

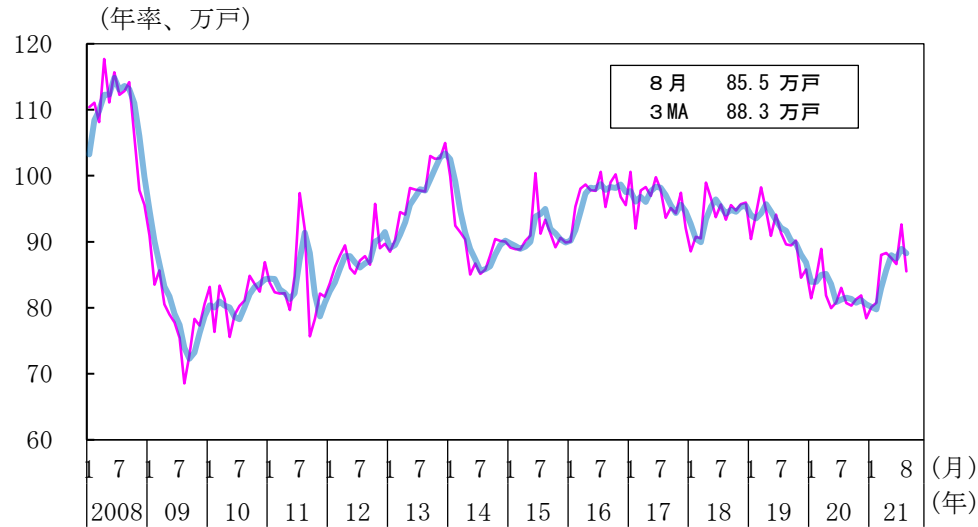
住宅建設は、このところ持ち直しの動きがみられる。

(前年同期(月)比、[]内は暦年前年比、()内は季調済前期(月)比、%)

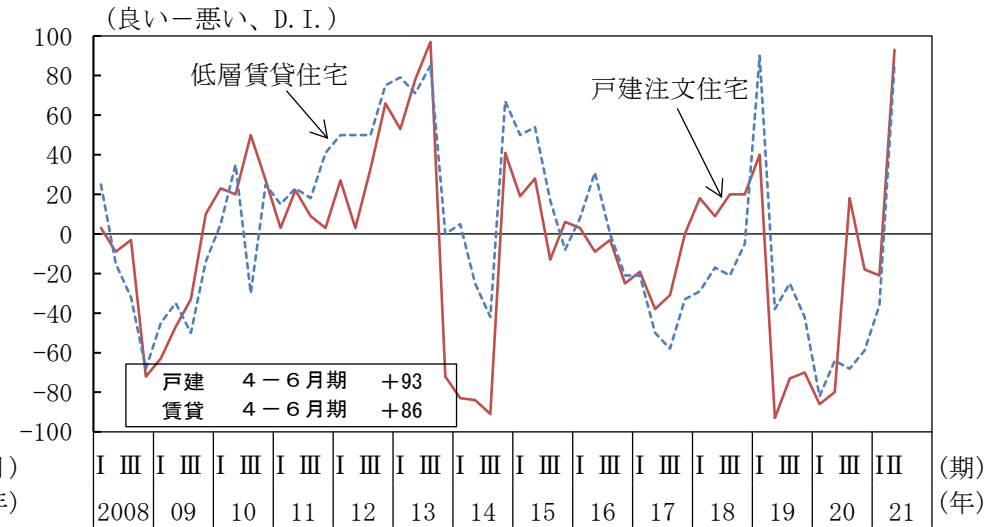
	[2019年] 2019年度	[2020年] 2020年度	2020年 10-12月	2021年 1-3月	4-6月	2021年 6月	7月	8月
新設住宅着工戸数 (万戸) (万戸)	[90.5] 88.4	[81.5] 81.2	80.5	83.0	87.5	86.6	92.6	85.5
	[▲ 4.0] ▲ 7.3	[▲ 9.9] ▲ 8.1	(▲ 1.0) ▲ 7.0	(3.1) ▲ 1.6	(5.5) 8.1	(▲ 1.0) 7.3	(6.9) 9.9	(▲ 7.7) 7.5
建築主が民間	[▲ 3.8] ▲ 7.3	[▲ 10.0] ▲ 7.9	(▲ 0.7) ▲ 6.8	(2.5) ▲ 0.9	(5.4) 7.9	(0.4) 8.4	(5.8) 10.4	(▲ 7.8) 7.0
持家	[1.9] ▲ 1.5	[▲ 9.6] ▲ 7.1	(4.4) ▲ 0.9	(3.9) 3.4	(▲ 0.0) 11.7	(▲ 0.2) 10.6	(8.0) 14.8	(▲ 3.5) 14.5
貸家	[▲ 13.7] ▲ 14.2	[▲ 10.4] ▲ 9.4	(▲ 5.2) ▲ 10.4	(4.3) ▲ 5.1	(10.9) 10.0	(4.8) 11.8	(1.4) 5.5	(▲ 7.5) 3.8
分譲	[4.9] ▲ 2.8	[▲ 10.2] ▲ 7.9	(▲ 2.9) ▲ 11.4	(2.9) ▲ 1.9	(4.2) 2.1	(▲ 7.9) ▲ 1.5	(14.2) 11.0	(▲ 13.3) 5.3
一戸建て	[3.6] 0.8	[▲ 11.5] ▲ 11.6	(3.9) ▲ 11.9	(6.0) ▲ 4.3	(5.6) 6.9	(▲ 3.5) 8.6	(2.2) 12.9	(▲ 3.4) 24.8
マンション	[6.5] ▲ 7.1	[▲ 8.7] ▲ 3.2	(▲ 10.1) ▲ 10.7	(▲ 0.9) 1.2	(2.4) ▲ 3.7	(▲ 14.0) ▲ 15.5	(32.6) 8.5	(▲ 25.2) ▲ 14.3
着工床面積	[▲ 0.6] ▲ 4.5	[▲ 11.2] ▲ 9.3	(0.2) ▲ 7.7	(3.3) ▲ 1.0	(5.3) 8.3	(▲ 1.8) 7.4	(4.9) 13.1	(▲ 3.0) 12.5
建築主が民間	[▲ 0.4] ▲ 4.5	[▲ 11.3] ▲ 9.2	(0.4) ▲ 7.5	(2.9) ▲ 0.4	(5.2) 8.4	(▲ 1.0) 8.2	(4.1) 13.6	(▲ 3.1) 11.9
工事費予定額平米単価 (万円) (万円)	[19.9] 20.0	[20.1] 20.1	19.7	20.2	20.1	19.9	19.8	20.4
	[3.3] 2.9	[0.6] 0.5	▲ 1.3	0.7	0.1	0.4	▲ 0.1	▲ 1.2

- (備考) 1. 国土交通省「建築着工統計」により作成。
 2. 「建築主が民間」とは、建築主別の「会社」、「会社でない団体」、「個人」の合計を、内閣府において季節調整したものである。
 3. 「一戸建て」には長屋建てを含む。「マンション」は建て方が共同住宅のものである。
 4. 「工事費予定額平米単価」は、「居住専用+居住産業併用×0.7」の工事費予定額、着工床面積により算出した。

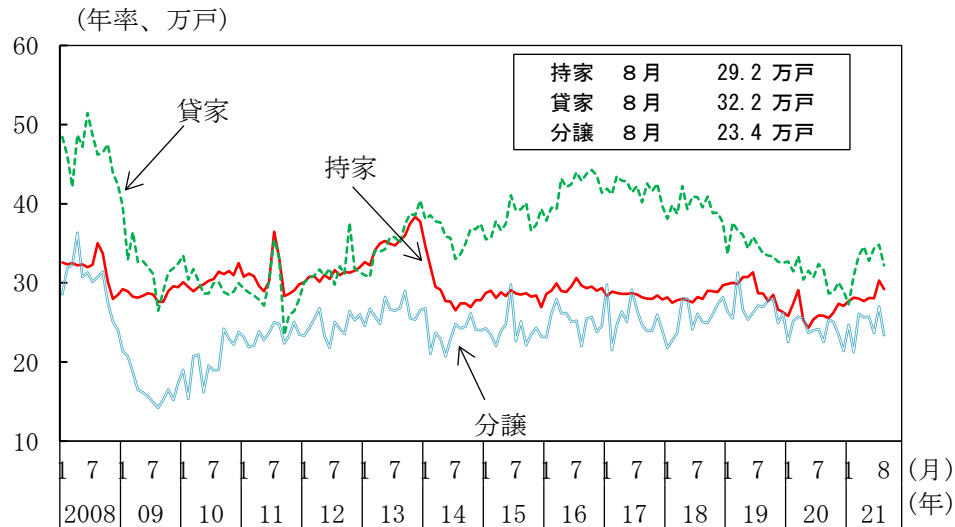
住宅着工戸数（季節調整値）



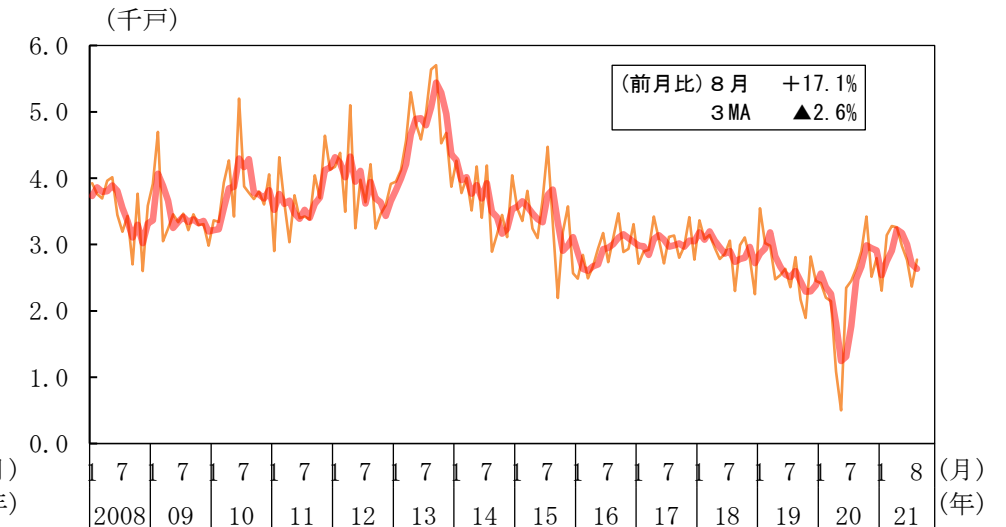
住宅景況判断指数（受注戸数）



利用関係別住宅着工戸数（季節調整値）



首都圏のマンション総販売戸数（季節調整値）



- (備考) 1. 国土交通省「建築着工統計」、(一社)住宅生産団体連合会「経営者の住宅景況感調査」、(株)不動産経済研究所資料により作成。太線は後方3か月移動平均。
 2. 住宅景況判断指数（受注戸数）は、住宅生産団体連合会の企業会員等18社の経営者を対象に、受注戸数の前年同期比（実績）について「10%程度以上良い」から「10%程度以上悪い」の5段階の評価に応じた評点により加重平均して算出した値（-100～+100）。
 3. 首都圏のマンション総販売戸数は内閣府による季節調整値。